

IUU 漁業の事例等に関する文献

(IUU 漁業の推計及び総論)

1. Y. Oozeki, et al, **Reliable estimation of IUU fishing catch amounts in the northwestern Pacific adjacent to the Japanese EEZ: Potential for usage of satellite remote sensing images**, *Marine Policy*. 88 (February 2018) 64-74.
我が国の排他的経済水域に隣接する北西太平洋における中国による違法さば漁業について、人工衛星を活用した情報を用いて推計したもの。その漁獲量は、日本のサバの生物学的許容漁獲量（ABC）の 80%以上と試算。
<https://doi.org/10.1016/j.marpol.2017.11.009>
2. WWF「日本の水産物市場における、IUU 漁業リスク」(2016 年 6 月)
日本において漁業生産量及び輸入量の多い魚種の中で IUU リスクが特に高いとみられた 10 魚種について、6つの基準により詳細な IUU リスクアセスメントを実施した結果をまとめたもの。各基準の平均では、ウナギ類、ヒラメ・カレイ類、タラバガニ類のリスクが特に高いことを指摘。
https://www.wwf.or.jp/activities/data/20171227_ocean02.pdf (日本語概要)
https://www.wwf.or.jp/activities/data/20171227_ocean03.pdf (英語全文)
3. D. Agnew, et al, **Estimating the worldwide extent of illegal fishing**, *PLoS ONE*. 4(2) (February 2009).
IUU 漁業が世界全体の漁獲量に占める割合が 13~31%あり、100~235 億米ドルの損失額に相当すると推計。西アフリカにおける IUU 漁業の割合が 40%を超えるなど、ガバナンスの低さと IUU 漁業の蔓延との相関性を指摘。
<https://doi.org/10.1371/journal.pone.0004570>
4. G. Pramod, et al, **Estimates of illegal and unreported fish in seafood imports to the USA**, *Marine Policy*. 48 (April 2014) 102-113.
2011 年に米国に輸入された天然水産物のうち 20%~32%が違法に漁獲されたものであると推計。特に中国での再加工品が不透明なサプライチェーンを助長していることなどを指摘。
<https://doi.org/10.1016/j.marpol.2014.03.019>
5. WWF, **An Analysis of the Impact of IUU Imports on US Fishermen** (2017 年 8 月).
IUU による米国の漁業者への直接的な経済影響について分析。米国の漁業者は IUU 水産物の流入によって年間 10 億米ドルを損失している可能性がある

り、米国政府が IUU 水産物の流入を食い止めることにより、漁業者の利益は 2 割増えると試算。

<https://www.worldwildlife.org/publications/an-analysis-of-the-impact-of-iuu-imports-on-u-s-fishermen> [Accessed 9 January 2018]

6. **WWF, Illegal Fishing: Which fish species are at highest risk from illegal and unreported fishing?** (October 2015).

世界の水産資源のうち 54%の魚種資源が高度の IUU の漁業のリスクがあり、32%の魚種資源が中度の IUU 漁業のリスクがあること等を分析。

<https://www.worldwildlife.org/publications/illegal-fishing-which-fish-species-are-at-highest-risk-from-illegal-and-unreported-fishing> [Accessed 9 January 2018]

7. **Bay of Bengal Large Marine Ecosystem (BOBLME), Review of Impacts of Illegal, Unreported and Unregulated Fishing on Developing Countries in Asia** (May 2015).

南アジア及び東南アジアでの IUU 漁業の推計についてまとめたもの。当該地域における IUU 漁業の規模は年間 450 万～1,500 万トン、金額では 60 億～210 億米ドルと推計。違法または無報告漁業の漁獲量が最も多い国はインドネシアとタイであり、魚種ではイカ・タコの割合が最も多い。

<http://www.boblme.org/documentRepository/BOBLME-2015-Governance-15.pdf> [Accessed 9 Jan. 2018]

8. **MRAG Asia Pacific, Towards the Quantification of Illegal, Unreported and Unregulated (IUU) Fishing in the Pacific Islands Region** (February 2016).

南太平洋におけるカツオ・マグロの IUU 漁業に関する報告書。太平洋の IUU 漁業におけるマグロの漁獲量が約 28 万から 34 万トンと推計。魚種別ではカツオ類がいちばん多く、全体数量の 33%、次いでキハダが 31%。漁法別では巻き網がいちばん多く、全体数量の 7 割を占める。違法内容は、報告違反や集魚装置禁止期間における使用が大半。

<https://www.ffa.int/node/1672> [Accessed 9 January 2018]

9. **High Seas Task Force, Closing the Net: Stopping illegal fishing on the high seas** (March 2006).

英・加・豪・チリ・ニュージーランド・ナミビアの 6 政府及び WWF, 国際自然保護連合 (IUCN), コロンビア大学附属地球研究所によって、IUU 漁業がどのように生じ、その実態や対策が困難である要因等をまとめたもの。

<https://www.oecd.org/sd-roundtable/aboutus/stoppingillegalfishingonthehighseas.htm> [Accessed 9 January 2018]

(IUU 漁業の事例)

10. **Stop Illegal Fishing Focus Group, Illegally fished, illegally transhipped and legally consumed** (March 2014).

西アフリカでの IUU 漁業の事例として、韓国籍漁船がシエラレオネ沿岸域にて違法操業を行い、オランダ籍の冷凍運搬船に転載して韓国・釜山に運ばれたことを指摘。

<https://stopillegalfishing.com/wp-content/uploads/2016/05/SIF-CS9-Illegally-fished-illegally-transhipped.pdf> [Accessed 9 January 2018]

11. A. Daniels, et al, **Western Africa's missing fish: the impacts of illegal, unreported and unregulated fishing and under-reporting catches by foreign fleets** (June 2016).

西アフリカでの IUU 漁業の実態について衛星追跡データを用いて紹介するとともに、西アフリカ諸国の貧弱な統治制度が違法操業を取り締まる法制度の整備を妨げており、同諸国の経済成長を大きく損ねていることを指摘。

<https://www.odi.org/publications/10459-western-africas-missing-fish-impacts-illegal-unreported-and-unregulated-fishing-and-under-reporting> [Accessed 9 January 2018]

12. Greenpeace, **The Cost of Ocean Destruction: Report from Greenpeace Ship Tour of West African Fisheries 2017** (November 2017).

世界で最も IUU 漁業の影響を受けている西アフリカにおけるグリーンピースの船による洋上監視活動と、寄港地の官僚・地域社会・青年団体への関与の結果と分析を詳述。その上で、西アフリカ諸国政府が政府の責務を果たすために漁業活動を共同で管理し、公平で持続的な水産資源の分布を確保するための提言を記載。

<http://www.greenpeace.org/africa/en/Press-Centre-Hub/Publications/The-Cost-of-Ocean-Destruction/> [Accessed 12 December 2017]

13. K. de Greef, S. Raemaekers, **South Africa's Illicit Abalone Trade: An Updated Overview and Knowledge Gap Analysis** (October 2014).

南アフリカでのアワビ密漁の実態についてまとめたもの。南アフリカと東アジアの犯罪組織の結びつきにより、南アフリカで密漁されたアワビが香港に輸出されるとともに、密漁の対価としてメタフェタミン等の薬物が漁業者に支払われ、薬物依存などの問題も生じていることを指摘。

<http://www.traffic.org/home/2014/10/8/organized-crime-drugs-and-poverty-are-behind-south-africas-a.html> [Accessed 9 January 2018]

14. N. Dronova, V. Spiridonov, **Illegal, Unreported, and Unregulated Pacific Salmon Fishing in Kamchatka** (January 2009).

カムチャッカでのサケの IUU 漁業について分析したもの。イクラの採取のために年間 5 万 4 千トン以上のサケが密漁されており、繁殖資源の 95% が失われていると指摘。ロシア産サケ製品の主な輸出先は、日本・中国・韓国となっている。

<http://www.wwf.ru/resources/publ/book/eng/313> [Accessed 9 January 2018]

15. WWF 「違法なロシア産カニ 貿易フロー調査」 (2015 年 6 月)

ロシアにおけるカニの密漁を助長している米国、日本、韓国などに向けたロシア産のカニの貿易の現状をまとめたもの。世界で流通しているロシア産のカニの総量はロシア政府が法律で定めた漁獲量を大きく上回っており、ロシアにおける水揚げ量の不正申告、未申告製品の輸送船への洋上積み替え、偽造した書類で申告したカニの外国港湾への直接引き渡し等の問題を指摘。

<https://www.wwf.or.jp/activities/2015/06/1265708.html> (2018 年 1 月 9 日閲覧)

(IUU 漁業と人権問題の関連)

16. Associated Press, **AP Explore: Seafood from slaves** (2015).

東南アジアの水産業界で過酷な労働実態を明かし、非人道的な労働により捕獲・加工した水産物が米国の大手小売店で販売され、大手メーカーのペットフードとして流通している問題を AP 通信の女性記者チームがスクープ報道したものの。

<http://www.ap.org/explore/seafood-from-slaves/> [Accessed 12 December 2017]

17. グリーンピース 「変化の波：タイの遠洋漁業における人権侵害と違法漁業」 (2017 年 5 月)

インド洋で操業するタイの遠洋漁船で行われていた人身売買、その他の人権侵害の調査結果をまとめたもの。脚気が蔓延しかねない劣悪な労働環境で、人身売買で確保した強制労働力を強制的に用いていることなどを指摘。

<http://www.greenpeace.org/japan/ja/library/publication/20170511/> (2017 年 12 月 12 日閲覧)

18. グリーンピース 「サプライチェーンの裏側：世界のマグロ産業にはびこる人権侵害」 (2016 年 12 月)

タイのマグロのサプライチェーンにおいて、監禁・強制労働などの重大な人権侵害があることを 2 人の乗組員への独自の聞き取り調査で明らかにした

もの。そうした漁業により漁獲された水産物がタイ・ユニオンなど大手の水産会社に納入されていることを指摘。

<http://www.greenpeace.org/japan/ja/library/publication/20161111/> (2016年12月12日閲覧)

19. T. McKinnel, J.Y.C. Lee, D. Salomon, **Made in Taiwan: Government Failure and Illegal, Abusive and Criminal Fisheries** (April 2016).

台湾の漁船において人身売買や強制労働・殺人が行われており、これらの漁獲物が欧米やニュージーランドにも売られていることを報告。台湾政府は適切にこれらの漁船と水産業界を管理することに消極的、あるいはできていないことを指摘。

<http://www.greenpeace.org/international/en/publications/Campaign-reports/Oceans-Reports/Made-in-Taiwan/> [Accessed 12 December 2017]

(IUU 漁業と国家安全保障との関連)

20. C. Haenlein, **Below the Surface: How Illegal, Unreported and Unregulated Fishing Threatens our Security**, RUSI Occasional Papers (July 2017).

IUU 漁業が汚職や資金洗浄、人身売買などの他の犯罪につながっていることを南アフリカや中国等の実情を用いて示し、国際安全保障上の脅威であることを指摘。

<https://rusi.org/publication/occasional-papers/below-surface-how-illegal-unreported-and-unregulated-fishing-threatens> [Accessed 18 July 2017]

21. G.B. Poling, C. Cronin, **Illegal, Unreported and Unregulated Fishing as a National Security Threat** (November 2017).

IUU 漁業が人身売買や薬物売買、反乱やテロリズムと行った組織犯罪の温床となり直接的・間接的に国家安全保障の脅威となっていることをイタリアやロシア、アフリカ諸国、東南アジアの例を挙げて説明。IUU 漁業の取り締まりのため、厳格な刑事罰、自動船舶識別装置や運行情報データのさらなる国際共有、公海での法的枠組みの強化、旗国の責任の強化（特に便宜置籍国）、地域漁業管理機関及び国際機関のデータのさらなる共有などを提言。

<https://www.csis.org/analysis/illegal-unreported-and-unregulated-fishing-national-security-threat> [Accessed 16 November 2017]

(その他)

22. British Retail Consortium (BRC), Environmental Justice Foundation (EJF), **An Advisory Note for the UK Supply Chain on How to Avoid Illegal, Unreported and Unregulated (IUU) Fishery Products** (2015).

英国のサプライチェーンの関係者向け IUU 水産物の流入を防止するために必要な確認手段をまとめたもの。

<https://ejfoundation.org/reports/an-advisory-note-for-the-uk-supply-chain-on-how-to-avoid-illegal-unreported-and-unregulated-iuu-fishery-products-engl-version>

[Accessed 9 January 2018]